

未来への挑戦

教員採用選考二次試験で、現役学生11名が小学校合格！！

11月初旬に、宮崎県をはじめ九州各県の教員採用二次試験の結果が発表されました。

現役学生では、一次試験合格者17名中11名（65%）が公立小学校二次試験で見事に栄冠を手に入れました。また、卒業生も小学校2名、中学校1名、計3名が合格しました。さらに、宮崎市・都城市の公務員試験にも現役学生が3名、卒業生1名が合格しました。

現役学生				卒業生		
採用区分	県・市名	合格者数	合格率	採用区分	県・市名	合格者数
小学校	宮崎県	11名	65.0%	小学校	宮崎県	2名
				中学校	鹿児島県	1名
公務員試験	宮崎市 (一般行政職)	1名		公務員試験	宮崎市 (保育士・幼稚園教諭)	1名
	宮崎市 (保育士・幼稚園教諭)	1名				
	都城市 (保育士・幼稚園教諭)	1名				

教員採用試験を受験した4年生の皆さんは、一次試験の発表の後、毎日模擬授業や個人面接、英会話の練習などに取り組み、念願の合格を手に入れました。二次試験に合格するために、歯を食いしばって何度も何度も二次試験対策の指導を受けてきました。小学校の模擬授業は国語・社会・算数・理科の4教科から出題されるので、すべての学年の教科書を買って求め、どんな題材が出されても慌てなくていいように、やれるだけのことをやって二次試験に臨みました。コロナ感染症の影響で、例年に比べ試験日が一月も延期になりましたが、大学の特別対策講座が終わった後も、学生同士で模擬授業を繰り返し行い、相互評価を続けて自信をつけるなど、全員が協力して二次試験まで頑張りました。11名の合格者

は、晴れて来年4月から公立小学校教諭として教育現場に立つこととなります。

一方、試験の結果に合格があることは避けられません。合格に手が届かなかった学生たちは、気持ちを切り替えて宮崎県の臨時的任用講師の登録申請を済ませました。そして、来年4月から講師として教育現場で子どもたちの教育に当たる覚悟です。本学では、講師の経験を積んだ卒業生が、現場での実践を踏まえて毎年のように合格しているの、次年度、必ず合格の栄冠を手

にすることと思います。合格した学生の声を次に紹介します。

合格おめでとうございます



教員採用試験合格の喜びと今後の抱負

4年生男子学生

教員採用試験に合格することができました。とても大きな喜びを感じています。私が合格することができたのは、これまでご指導いただいた多くの先生方や応援し見守ってくださった方々、そして、一緒に学び努力してきた仲間たちなど多くの支えがあったからだと思います。多くの方の支えを受けて、私自身合格のために精一杯準備をし、努力することができました。

私の今後の抱負は、「信頼される教師」になることです。児童や保護者の方だけでなく、他の先生方からも信頼される教師を目指したいです。「信頼される教師」となるために、法令を遵守すること、楽しく分かる授業をすること、子どもたちを理解し向き合うことなどを大事にし、研究と修養に努めたいです。これからの教師としての新しい生活には、嬉しいことだけでなく苦しいこともあるかもしれませんが、一つ一つ乗り越えていくつもりです。また、大学の仲間たちとの絆を大事にするとともに、同僚や先輩方とそれらを分かち合うようにしていきたいと思っています。

4年生女子学生

教員採用二次試験の合格発表当日、緊張のあまり自分で受験番号を確認することができませんでした。合格発表予定時間を少し過ぎた頃に両親から連絡がありました。「おめでとう。合格だよ。」という連絡でした。その連絡を受けた瞬間、嬉しさがこみ上げてきました。そして今まで支えてくれた先生方、家族や学友への感謝の気持ちでいっぱいになりました。教員採用試験合格発表の連絡をすぐに先生や親戚に伝えました。かつて祖父が小学校教員だったため、祖母は泣いて喜んでくれました。

いよいよ春から、教員として子供たちの前に立つことを考えると楽しみで気合も入りますが、その一方で不安もあります。なぜなら子どもたちに確かな学力を身に付けさせるために、まだ自分の力が十分ではない部分があると思うからです。卒業までの大学生活の中で、これからも勉強に励み、専門的知識や授業力を身に付けていきたいと思っています。

「4年生の学習法に学ぶ」特別対策講座を後輩たちが真剣に受講！

恒例になった4年生の学習法を後輩たちが直接学ぶ特別対策講座が、今年も1年生から3年生を対象に実施されました。4年生がこれまで実践してきた教員採用試験対策のノウハウを、各学年に分かれて具体的に話をしてくれました。現役の合格者を毎年出してきた実績は、後輩たちにとって何より説得力のあることであり、今年も多数合格してくれたので熱心に聞いていました。4年生もかつて先輩たちにしてもらったように、自分の使った問題集やノートなどを持参し、それぞれの体験を伝えていました。



質問に答える4年生

次に、「4年生の学習法に学ぶ」を受講した3年生の感想文を紹介します。

「4年生の学習法に学ぶ」を受講しての感想と今後の抱負

3年生女子学生

4年生の勉強法を聞いて参考になる点がたくさんあり、今の自分の勉強法を見直すことができました。また、ノートや参考書も見せていただいて、もっと頑張らなくてはと刺激をもらいました。あと約1年、悔いのないように時間を有効に活用して勉強していきます。

3年生女子学生

教員採用試験についてのお話を聞いて、自分に合う勉強法や教材を探すことがまずは重要であることを知りました。友だちと一緒に勉強している人もいれば一人でコツコツと勉強している人もいて、私は一人で勉強するほうが集中できるので、静かな場所で集中して勉強したいと思いました。しかし、一人だとどうしても怠けてしまうこともあるので、友達と勉強時間や勉強した範囲を毎日記録したり、自分たちでテストを作ってそれを交換したりなどして、モチベーションを高めながら勉強に取り組みたいです。貴重なお話を聞けて、とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。

3年生男子学生

4年生の学習法を聞いて、それぞれの先輩方が色々な学習法を用いて教員採用試験までに学習を進めていったことがわかりました。教員採用試験までに4年生が使った色々な教材を自分も早く購入して学習に取り組みたいと思いました。その前にまず11月から始まる教育実習に精いっぱい取り組み、様々なことを吸収してから、その後、教員採用試験に向けて気持ちを切り替え、勉強を進めていきたいと思います。特に、私は1次試験より2次試験の面接や集団討論の方が苦手なのでそれも十分練習していきたいと思います。

3年生女子学生

今回、報告会に参加して感じたことは3つあります。1つは、傾向をつかんで対策を行うことが大切だということです。これをするために、過去問題を解きながら様々なことがわかるように丁寧にやり直しをしていこうと感じました。

2つ目に、テキストは最終的には絞って行うことが大切だということです。私も今教職教養は使っているものがありますが、私はそのテキストが見やすいし進めやすいので固定していこうと思いました。全科についてはまだ見つけられていないので固定していけるようにしたいと感じました。

3つ目に、絶対に後悔しない勉強に取り組むということです。私も現段階で、忙しいことを理由になかなかすることができていません。しかし、まだ間に合うと信じて後悔ないようにしっかりと計画を立てて進めていきたいと感じました。

以上の3つから、先輩たちが作り上げてきた合格率と努力を引き継ぎ、私たちもみんな合格できるように残りの日々を頑張っていきたいと改めて思いました。まずは、実習を頑張ってきます。



自分の学習法を説明する4年生

教員・保育士採用試験合格のための夏季特別研修

本学恒例の教員・保育士採用試験合格のための特別対策合宿が、新型コロナウイルス感染拡大のために中止になりました。それに代わる「教員・保育士採用試験合格のための夏季特別研修」を、教育学部2年生・3年生全員及び国際教養学部3年生の教職課程専攻学生が参加して、9月17日に終日実施しました。教員・保育士としての心構えや求められる資質などについて、宮崎県教育研修センターの先生や宮崎



「模擬授業の要点」の講義

市教育委員会アドバイザーなど多数の学外の講師の先生方から講話をしていただきました。

また、本学出身の小学校や中学校の先生、認定こども園の保育教諭から教員採用試験の体験談や「教員としての資質・学生に就職活動の話をしてもらったり、教育・保育現場の具体的な話をしてもらったりなど、学生たちにとって貴重な体験やお話をしていただきました。感想を次に紹介します。



「望むこと」の講義

3年生女子学生

今回の特別対策プログラムでは、宮崎県教育研修センターの方、大学・短期大学の先生、そして国際大学を卒業され、学校現場で働いている先輩の講話がありました。内容としては、「教員に求められる資質・能力について」、「教員採用試験の概要と対策について」、「面接と模擬授業の練習」などがあり、将来教師を目指す自分にとっては、非常に勉強になりました。特に、実際に学校現場で働かれた経験のある先生からのお話は貴重であり、教師のやりがいや仕事についてのお話を聞いて、より教師になりたいと強く感じました。

また、教員採用試験についての講話では、採用試験の難しさと厳しさを実感するとともに、継続的な勉強が重要であると身にしみて感じました。面接練習では、面接におけるポイントを学び、実際にやってみると難しく、自分の考えをしっかりと相手に伝える練習をしていく必要があると感じました。

一日の研修の中で様々な方からのお話を聞き、教師を目指す自分を振り返るとともに、これからより計画的に勉強していく必要があると強く感じました。今回学んだことを、これからの大学での学びに生かし、教員採用試験合格を目指して頑張っていきたいと思えます。

3年生男子学生

講義1では、教員としての資質について学びました。教員としてどのようなことが求められるのか、自分に何が足りないのかなどが明確になりました。私は、失敗を恐れてチャレンジする気概が足りないので、これからいろいろなことに積極的に取り組みたいと思うと同時に、教師になりたいという思いが一層強くなりました。

3年生女子学生

講義3では、模擬授業で問われることについて学習しました。その中で、1時間の授業をするためには教材研究を3時間しなくてはならないことを学びました。私は、まだまだ教材研究が足りないと思いました。また、授業スキル測定指標を初めて見ましたが、意図が明確で分かりやすい発問と端的で明確な作業指示の話聞き、児童にとってよく分かる楽しい授業ができるようにこれから努力したいと思いました。

3年生女子学生

清武みどり幼稚園主任保育教諭の先生のお話を聞き、保育所と認定こども園では、一日の流れが異なっていることを学びました。また、学生のうちに実践活動を通して連絡帳の書き方や手遊び歌などの技術を身に付けておかなければならないと感じました。

2年生男子学生

「教員採用試験対策について」の講義では、今、競争倍率が下がっていると聞いたので、現役で何とか合格を勝ち取りたいと思った。今まで、一次試験にどのような問題が出るのか分からず、何をしたらよいのかもわからなかった。しかし、今日の講義で具体的に何をすればよいのか明確になった。一次試験は知識の量が問われるので、今のうちから少しずつやっていこうと思った。後期の授業も一つ一つ魂を入れて受講したいと思った。

2年生女子学生

「教員としての資質・学生に望むこと」の講義では、「4つの種類の教師」が印象に残っている。①普通の教師、②いい教師、③優れた教師、④偉大な教師の4つである。④の偉大な教師とは、生徒の心に火をつける教師である。簡単になれるわけではないが、私自身、過去に④の教師に出会い、忘れられない存在になっている。私も今日話を聞いて、④の偉大な教師になりたいと強く思った。



距離を置いて講義を聞く学生

令和2年度 特別対策プログラム 研修内容 (令和2年9月17日)

学部 学年	教育学部 小幼コース		教育学部 幼保コース		国際教養学部 3年 (20人)
	2年 (39人)	3年 (31人)	2年 (13人)	3年 (8人)	
場所	短大新館3 5 教室		短大新館3 6 教室		短大新館45教室 第1・2講義は35教室
9:00	開会行事 (学長挨拶、日程説明、諸注意等)				
9:20 10:50	講義1「教員としての資質・学生に望むこと」 宮崎県教育研修センター 学習研修課 主幹		講義1「保育者としての心構え」 みどり幼稚園 園長		講義1「教員としての資質・学生に望むこと」 宮崎県教育研修センター 学習研修課 主幹
	休憩				
11:00 12:30	講義2「教員採用試験対策」 宮崎学園短期大学 准教授		講義2「新幼稚園教育要領」接続期カリキュラム 宮崎市教育委員会 保幼小連携アドバイザー		講義2「教員採用試験対策」 宮崎学園短期大学 准教授
	昼食・休憩 (短大記念館を中心として)				
13:15 14:45	講義3「模擬授業の要点」 宮崎国際大学 教授		講義3「模擬保育の要点」 清武みどり幼稚園 主任		講義3「模擬授業の実践」 宮崎国際大学 特任教授
	休憩				
15:00	個人面接全体指導 宮崎学園短期大学 特任准教授				講義4「学習指導案の作成」 宮崎国際大学 特任教授
17:00	個人面接実践指導 宮崎学園短期大学 准教授		個人面接実践指導 宮崎学園短期大学 特任准教授		
	休憩				
17:30	講話：卒業生から 現場の様子と学生時代に学んでほしいこと 宮崎市立穂北小学校 教諭 (卒業生)		講話：卒業生から 現場の様子と学生時代に学んでほしいこと 清武みどり幼稚園 保育教諭 (卒業生)		講話：卒業生から 現場の様子と学生時代に学んでほしいこと 日向市立平岩小中学校 教諭 (卒業生)
18:30	閉会行事				